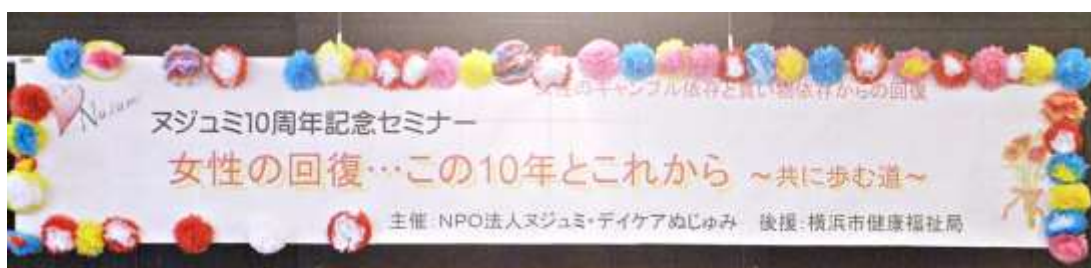


**＜女性のギャンブル依存症のリハビリテーションセンター＞
デイケアセンター ぬじゅみ だより**

平成 29 年 7 月号 発行元 NPO 法人 ヌジユミ №87
買い物依存、浪費癖の方もご相談ください



横浜市開港記念館にて H29 年 6 月 17 日 (土)





↑ 午前に代表理事 田上和則の挨拶

参加された家族の方のメモより

《理事長の話》

- ヌジュミの施設長は、辛い事が多く、何度も運営難にさいなまれてきたが関わる方たちがつながってきた事実の10年だったと思う。
- IR (Integrated=統合された Resort) 推進法案などの問題も高まり、ヘルプラインがあることの重要性を発信し続けなければならない。
- 依存症者の人数は増加しているが、小規模で発信力不足で、未だに回復施設はどこ？と探されている方も多い。そんな中、メディア関係はIR法案などの影響でざわついてきている

参加された家族の方のメモより

《ダルク女性ハウス代表 上岡陽江さんの話》

- 虐待ケースの4割5割は依存性になりやすい。
- ギャンブル依存の女性の行き場がない、回復施設が少ない。
- 依存症のプログラム自体が、元々、アルコール依存の欧米男性向けに作られたものである。
- アスリートの主従関係、厳しい指導法により依存を招くケースがある。
- 有名選手や国民栄誉賞をもらうようなアスリート自身がその問題を実感しており、なんとか世界で通用できる健全なアスリートを育てたいと思っている実態がある。



- タイガーウッズの例からも、今後、日本の薬物汚染はひどくなる一方である。覚せい剤等非合法な物ではなく、鎮痛剤や眠剤など処方の問題である。タイガーウッズのようなケースは少なくない。
- 依存は回復した後に、次につながるツールが必要。ピアサポートなど自分を認め合う確認のできる。コミュニティが重要である。現在は年に一度500名程が集まるアディクションの当事者の会の全国ネットが存在し、意見の交換がなされている。
- 回復者は、辞めたことのワクワク感が必要である。
- 回復後の一例として、依存からの回復を祝い、仲間に焼き肉をおごるという取り組みを定例会とし、年々増え、80人になってしまったという笑い話もあるそうだ。（どうやって支払ったかは皆無）
- また、回復や人の成長の為に、こういう人になりたいと人の真似をする事は大切な事。

参加された家族の方のメモより

《当事者の話》

- 18才から34才までパチンコ・スロットにはまり、34才で回復施設（ヌジュミ）につながる。
- パチンコは楽しかった！25才まではどうにか金をやりくりしていたいが、そこから彼氏（結婚を約束していた）に逃げられ（友人との浮気）金融機関から金を借りての
パチンコ生活が始まり、辛い生活が始まる。あっという間に300万を借金、その後、肩代わりを2回、1回目は350万、2回目は500万。
- 事の発端はビギナーズラック。一万が9万になったとの事。
- パチンコに勝った事で、物欲が向上し、嫌な事を忘れる、楽しい、人にとやかく言われたい、干渉されないなどが動機につながる。また、当時の彼



10年前の開設記念にもお話しいただいた
荒川寮 施設長 福田順子さん

氏とデートの場所がパチンコであった。

(講師復唱：男は裏切る、責任をとらない)

- 看護関係、医者、レスキュー等の職種はパチンコにハマりやすい。
- 近年の借金は、金融機関ではなく、買い物依存、万引き常習者などの破産理由はアマゾン、ソゾタウン、楽天である。
- パチンコ屋にもいかなくなり引きこもり、ネットで破産をしてしまうケースが多い。
- 金融機関は上限があるが、買い物は上限がない。しかもソゾタウンは支払いが2ヶ月先・ネットの話から、ライン問題、いじめの問題が横行しているが、変化を感じたら、すぐに対応、すぐに辞めさせることが肝心。
- 今の自分から過去の自分を振り返ると、小さいころから親に相談できない体質、家庭環境があった。
- 自分で解決しなきゃならないという思いがあった。
- 今思えば、家族にもっと甘えたかった。
- 家族はもともと転勤家族で、友人も少なかった。
- 18才ぐらいから男性依存も感じており、女性の友達が急激に減った。
- 父が頑固もので、言っても無駄とっていた。
- 今思えば何度も言っていれば良かったと後悔している。
- 上記のように、依存症者には少なからず幼少期の大変さがある。
- 刑務所にいる人の声で、刑務所より親父が怖いと話す方がいる。幼少期の記憶が苦しめている。
- 誰しも親と子のコミュニケーションのずれが、きずかない所で生じる可能性は十分にある。



↑ 女性サポートセンター Indah(インダー)
代表 小嶋洋子さん

参加された家族の方のメモより

《当事者の話》

- 生保で母子家庭、高校の息子の弁当のおかすがないと教師から注意を受ける。
- 生保20万を一週間で使ってしまった。
- 4年まえから回復施設に通うが反抗的で、昨年夏に再発。
- 口座売買や携帯売買で詐欺罪として犯罪に手を染めてしまう。

- ・今は、自分を大事にしていきたい。自分の親にはまだ会えない。
- ・命を大切にしなければならない、依存症に完治はない、一日の回復を願う
遠い将来は考えられない。一日の我慢を考える。
- ・回復プログラムは一生継続していきたい。

：：：：：：：：：：：：：：：：

「仲間の話」

今の私

この施設に繋がって命を救われました。長い間の嗜癖（ある物を特に好きこのむしたくせ）だそうですが、自分一人ではどうにも出来なかった私はもうこれ以上何も望むものはなく、生きていきたい意欲もなく娘達に対しても罪悪感と自己嫌悪で一杯の私でした。ここに来て、命が一番大切な事、私にも生きて役に立つ事があると教えて頂きました。そして3ヶ月がたち、なぜ私は生かされたのかが少しずつ分かるようになり、毎日のミーティングにも通いながら仲間を通して、自分自身が見えるようになり今までの生き方・・・そしてこれからの生き方を身につけて、変えられない過去を忘れないようにして、これから私は私のままで、私の居場所で生きやすく生きていきたいと思っています。

Y・S

ペイフォワードを観て感じたこと・・・

私は今までやってもらうのがあたりまえという考え方で人生を生きて来た所があります。ヌジュミに来てもうすぐ1年という時間が経とうとしていますが、ここで私は色んな事を学んできました。12ステップ、人間関係、言葉使い◀今までとは違う生き方をしていくという事はすごく辛く、苦しいけれど自分が経験した事やこのヌジュミの仲間やGA、AAの仲間から色々な事を教えてもらった事を次は自分が新しくつながった仲間や、出会った人に伝えていく事が私の責任でもあるのだと思いました。

M・S

ペイフォワードを見て

先日、ペイフォワードを見ました。無償の愛を無償で返す素晴らしさをこの映画を見て改めて感動しました。最後の方で娘がお母さんをむかえに来て「許されるより許すこと、理解されるより、理解すること」を少しだけ分かった気がと思いました。

K・T

	利用者	電話相談	メッセージ	取 材
4月	16名	12件	2カ所	2件
5月	16名	20件	3カ所	2件
6月	12名	9件	1カ所	2件

NPO 法人又ジュミの財源が困窮しています！なおいっそうのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

★お振込先：加入者名 NPO法人又ジュミ

郵便振替口座番号 00270 4 61229

<カンパしてくださっている方々（順不同）>

♥暖かいご支援ありがとうございます。大切にに使わせていただきます(^-^)
4月14日から7月13日までの支援者の皆さまを掲載させていただきました。

<編集後記>横浜では、梅雨だというのに雨が降らず暑い日が続いてます。10周年記念セミナーの準備に追われ6月17日の当日を迎え、100人定員の会場に多くの方がいらしてくれて無事に終わることができました。

施設で「あなたが大人になりたくないと思ったのはいつ頃?」「11歳のころ」わたしは「13歳」、私は「27歳」自助グループでもらうバースデーごとに1才ずつ成長するんだね。すると私は12才、私は39才に、28才。?

※お問い合わせ

〒240-0052 横浜市保土ヶ谷区西谷町 1230-1
NPO 法人又ジュミ 横浜市地域活動支援センター
デイケアぬじゅみ

☎045-744-6516・FAX045-744-6517

